

特別シンポジウムOS05

薬学系女性の研究キャリア形成（2）～決断のときあなたは～

山縣 ゆり子¹，有賀 早苗²

¹熊本大院薬，²北大院農

「我が国においては、日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取組が、国際社会における取組とも連動しつつ、着実に進められてきたが、なお一層の努力が必要とされている。」として、1999年、男女共同参画社会基本法が制定された後、社会全体で男女共同参画が推進されている。日本薬学会では、1昨年の札幌年会ではじめて、男女共同参画の活動として、「薬学系女性の研究キャリア形成～アカデミア・企業・世界を舞台に輝く生き方～」という組織委員会企画の特別シンポジウムが開催された。当シンポジウムでは8名の様々なところで活躍する薬学系女性研究者が「私のキャリア ―今日までそして明日から―」というタイトルでリレートークを行い、多くの学生、院生の好評を得た。本シンポジウムではその第2弾として、キャリアのターニングポイントでどう考えて決断したかをいろいろな場で活躍の薬学系女性研究者6名とそのような決断に関わられた男性研究者1名に語っていただき、女子学生・院生が研究者を目指す上でのより詳細なロールモデルを提供するとともに講演者、フロアの皆様と女子学生比率の高い薬学系大学で女性教員比率は他の理系分野同様低い状況についても議論したい。なお、本シンポジウムは熊本大学男女共同参画推進室の共催として開催する。